



身のいかりを
まもり
身をつつしみ
身になすべからざるを
棄てて
身になすべきことを
行うべし

神田寺住職 友松浩志

釈尊のことば

法句經に学ぶ 7

雲 晴

春彼岸号

「雲 晴」第三十八号

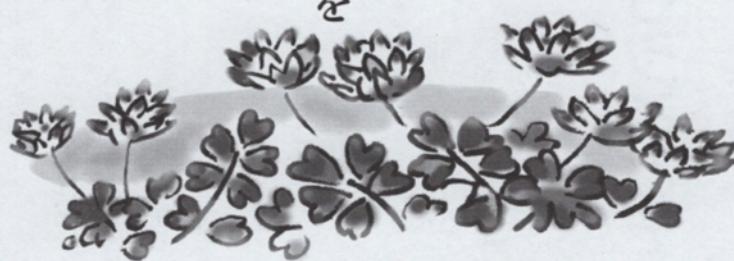
令和三年三月一日発行

貞林院瑞正寺
〒125-0041 東京都葛飾区東金町五-四六-一五
電話(03)3627-3415 FAX(03)5699-1591-15

緊急事態宣言のもと、旅行はもとより買物にも映画館にも行きにくい毎日が続きます。自宅でテレビを見たりビデオを見たり、パソコンやスマホをいじっている方も多いことでしょう。散歩やジョギングで、気持ちや身体のバランスをとっている方も見られます。みんな心の中に、イライラを抱えているような気がします。暴力事件など、増えないよう願うばかりです。

今回の法句經は、とても分かりやすい内容です。「いかり」をおさえて、冷静にふるまいかさい。そして、「してはいけないこと」はけしてしないで、自分の「すべきこと」をしつかりしなさい、という教えです。二千年前のインドの人たちが、今の私たちとまったく同じ心構えで生きようとしていたことが分かる教えです。

これまで私たちは、自由に外出したり歩き回つたり、制限なく自由に生きてきました。それが当たり前だと思ってきました。でも、よく世界を見まわしてみれば、そうした人たちばかりではありません。多くの制限のもと、不自由に暮らしている人たちもいます。コロナ禍のなか、自由に生きる、自由に行動できることの有り難さを改めて知る毎日です。こうした元の生活がもどるまで、冷静にしていきたいと思います。



唱歌のふるさと 童謡のくに ⑨

著：佐山哲郎

鳴呼荒城の夜半の月

えばいいと答えるべきである、

宴」とまつたく互角の日本愛唱

一口法話



慈円僧正

“一月は往ぬ、二月は逃げる、三月
は去る”と言われるよう、いつし
か今年も三月を迎えました。

建永二年（一二〇七）二月に讃岐（香川県）へと配流となつた法然上人は、讃岐でも精力的に活動されましたが現在でも香川県には多くの伝承が残されています。しかし、讃岐での配流生活は十か月余りで終わります。朝廷の実力者である藤原光親みちかや藤原頼実をはじめ、法然上人を信じる方々の嘆願もあり、同年十二月八日には畿内まで帰ることが許されました。

(大阪府)の勝尾寺に滞在なさいました。この地でも自らはお念佛を称え、他の人にはお念佛を勧める生活を続けられたと伝えられています。

京都に入ることが許されたのは、建暦元年(一一二一)十一月十七日の事でした。かつて住まわれていた吉水の草庵は荒れ果てており、亡き九条兼家の弟、慈円僧正(じえんそうぜい)のはからいで大谷の禅房に住むことになりました。その時

まつたそうです。
法然上人は、老齢の身での長旅の為
か、翌建暦二年（一二一二）正月を
迎え、病の床につかれました。この時
すでに耳は遠くなり、視力も衰えられ
ていたと言います。しかし、不思議な
ことに重篤になるにつれ、衰えた聴覚
と視覚が昔と変わらないほど鋭くなら
れたそうです。ひたすらにお浄土に関
することをお説きになり、大きな声で

して天台座主を四度もつとめ
としても秀でていました。また知恩
院の隣の吉水粟田の青蓮院第三世門
主でもありました。七十五歳で四國
に御流罪となり、七十九歳で勅免の
ご沙汰があり京都へ帰られた法然
上人を温かく迎え入れてくださった
お方でもあります。

その慈円僧正は次のような一首を
詠んでいます。

讃岐を出られた法然上人は京都に入る許可が下りるまでの間、摂津の国

京都に戻られた法然上人に「目お会い」といふと一晩で千人以上の人々が集

のお念仏を絶やさず、寝て いる時でもお念仏をお称えになられていました。

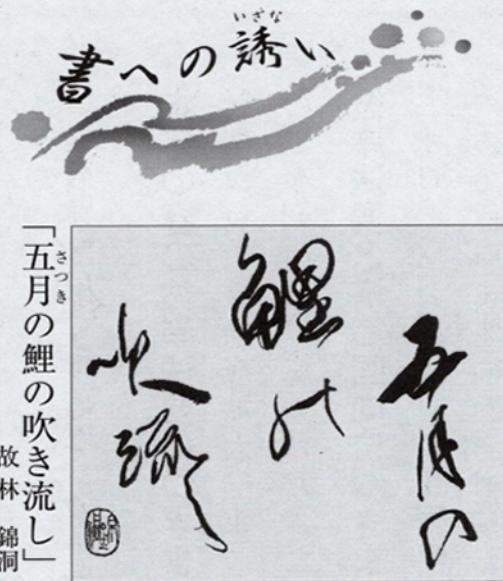
極楽へまだわが心行きつかず
羊のあゆみしばしとどまれ

極楽へまだわが心行きつかず
羊のあゆみしばしとどまれ

土井晩翠の方は既に名を成した大家であった。島崎藤村の「まだげ初めし前髪の」的な叙情、ロマンティシズムに対して「星秋落原五丈原」など男性的思索の世界で詩を書いていた。よく「荒城の月」のモデルになつたお城は何処かなどという質問がある。これほど人口に膾炙した名曲である。歌う人、聞く人、それぞれの記憶の中にの名曲『花』である「春のうららの隅田川」も「春高楼の花の

歌詞だけでははつきり掴めない
かもしれない。この歌ばかりは
曲の方だけ有名になつた珍しい
部類のものだからだ。

“一月は往ぬ、二月は逃げる、三月は去る”と言われるよう、いつしか今年も三月を迎えました。



「五月の鯉の吹き流し」
貞林院瑞正寺 住職 故林 錦洞書

が、五月の青空に風を受けて勢いよく泳いでいる姿は見ていてとても気持ちのいいものです。

五月五日は「こどもの日」であります。が、五月の青空に風を受けて勢いよく泳いでいる姿は見ていてとても気持ちのいいものです。

でもある」とではないでしょうか。作家の永六輔さんが映画評論家の淀川長治さんから「自分の誕生日とは母親が陣痛の痛みに耐えて自分を生んでくれた日なので母親に感謝をする日です」

同じ五月の第二日曜日は「母の日」ですが、本当に母親に感謝の気持ちを伝えなくてはいけない日は、自分の誕生日なのかもしれません。

と聞かされたことを本で紹介しておきました。

そして、ご自分が亡くなられた後を心配する弟子たちに、「お念佛の声のするところはどこでも、私が皆さんに遺す大切な場所です。」とお伝えになりました。また、一月二十三日には、記し、弟子の源智上人にお授けになられました。それは、「極楽浄土に往生するためには、必ず往生するのだと確信してお念佛を称える以外に何もありません。」「智者ぶつたふるまいをしないで、ただひたすらにお念佛を称えなさい。」と説き「このほかに奥深いことはありません。」とお誓いになる内容で、証として両てのひら掌に墨をつけて文面に押したものでした。これが



がかすかになりました。そして「阿弥陀様の光明は遍くすべての世界を照らし、お念佛をする人々を救いとつて捨てることはない」という経文を唱え終ると、眠るようにお淨土に旅立たれました。時に建暦二年一月二十五日の正午の事でした。お釈迦様のご入滅と同じ八十歳、「生けらば念佛の功つもり、死なば淨土へまいりなんともかくてもこの身には思ひ煩らうこそぞなき」ご自身のお歌を体現なされ

干支の「未」の文字は、木がまだ伸びきらないようすを表現した象形文字、「まだ・・・していない」という意味を表しています。慈円僧正が詠んだ「羊のあゆみ」とは残された人生のことです。

「極楽への信仰が十分ではないから、死に至るまでの時間をしばらく止めてほしい」とはだれしもの願いながら、羊の歩みは決して止まることがない以上、「無常迅速」（人の世の移り変わりの早くはかないこと）を肝に銘じて、南無阿弥陀佛の御念

今日でも京都の金戒光明寺に原本が伝わる『一枚起請文』です。

干支の「未」の文字は、木がまだ伸びきらないようすを表現した象形文字、「まだ・・・していない」という意味を表しています。慈円僧正が詠んだ「羊のあゆみ」とは残された人生のことです。

(総本山知恩院布教師会ホームページより)

春の彼岸法要ご案内

本年の春の彼岸法要につきましては、新型コロナ感染症拡大防止の観点から本堂内へのご参列はご遠慮いただくことといたしました。

彼岸法要と塔婆回向につきましては、

お中日の三月二十日（土）早朝に住職と副住職のみで行いますので、当日お寺にお越しの方は本堂正面でお焼香をされ、塔婆をお受け取りいただきお墓にお参りください。

塔婆をご希望の方は、
お早めに電話・ファックス・メール等にて寺までお申し込みください。

塔婆料 三千円
回向料 志納

*本堂内へのお参りまたはトイレなどで室内にお入りになる際は、必ずマスクの着用と本堂入口での手指消毒をお願いいたします。

「コロナ禍に思うこと」

昨年の二月頃より国内でも拡大してきた新型コロナウイルス感染症は、一年を過ぎてもまだその勢いは止まりません。世界中にこれほど感染が拡大するとは当初誰も予想しなかつたことと思います。丁度一年前の二月にこの寺報を発行しているお仲間（さんがた会）で台湾の台北善光寺にお参りを兼ねて二泊三日の研修旅行に行つて来ました。日本も台湾も感染者がまだ少なく、国内ではどこか他人事のような雰囲気があつた頃でした。

しかし既に台湾の入国検査では入国者全員の検温と携帯電話番号の記入を義務づけており、街のお店でも入店の際に検温と消毒は必ずお願いされ、市民の感染予防に対する意識も高く対応も早かつたように感じられました。行政の対応も早く、即時に中国からの入国は制限し、国民へのマスクの供給も既に準備にかかりました。台湾の累計感染者数八八一名・累計死亡者数七名（令和三年一月二二日現在）と、ほぼコロナを封じ込めた状況です。人口の差はあります、同じ島国でこの違いは何なのだろうと考えてしまいます。ワクチンの効果に期待をするとともに、早く安心して出かけられる日常が戻ることを願うばかりです。



アマビ工
「江戸時代より伝わる疫病を退散させる妖怪」

施餓鬼法要のご案内

本年の施餓鬼法要は五月十四日（金）に厳修いたしますのでご予定下さい。ご案内につきましては、あらためて四月に発送いたします。

なお本年より受付テントでは施餓鬼料のみの受付で、護持会費の受付はありませんのでご注意ください。

今後の新型コロナ感染症の収束状況にもよりますが、昨年と同様に本堂での法要は行わず、外での焼香とお塔婆の受け渡しのみとなる場合も想定されますので、施餓鬼のご案内であらためてお知らせいたしますので宜しくご協力ください。